

物語伝える資料が

企画展

2013年以降の新収資料から

会期

I期：2018年9月1日(土)～9月24日(月/休)

II期：2018年12月8日(土)～2019年3月31日(日)

休館日

月曜日(祝・休日は開館)、祝・休日の翌日、第4木曜日(12月27日は開館)、12月28日(金)～1月4日(金)

場所

仙台文学館 企画展示室

開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料

一般570円、高校生230円、小・中学生110円(各種割引あり)

主催：仙台文学館

後援：朝日新聞仙台総局 河北新報社 産経新聞社東北総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局
共同通信社仙台支社 時事通信社仙台支社 TBC東北放送 仙台放送 三宅テレビ
IC-東日本放送 エフエム仙台

(公財)仙台市民文化事業団
仙台文学館
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
http://www.sendai-lit.jp

仙台文学館では、1999年3月の開館以来、多くの方から書籍・雑誌・原稿・書簡・書画など多岐にわたる文学資料をご寄贈いただいています。それらの資料は、常設展示で活用しているほか、2009年と2013年に「寄贈資料展」と題して企画展示として紹介しました。その後も新たな資料が多数寄せられていることから、このたび2期に分け、自筆資料を中心とした新収寄贈資料展を開催します。今回展示する資料には、たとえば、明治時代の仙台と当時の人々の様子を記した書簡、文学者と仙台の縁を感じさせる愛用品など、今まであまり知られていなかった“物語”を秘めたものがあります。それらの資料が伝える“物語”を通して、仙台ゆかりの文学者に関心をもっていただいたり、地元の歴史・生活史に目を向けていただければ幸いです。



おもな内容・展示資料(予定) ※I期とII期で一部展示替えを行います。

明治のラブレターが現代に伝える多くのこと

展示資料 明治期に仙台で活躍し 島崎藤村らと交流のあった画家 布施淡と のちに妻となる加藤豊世が交わした往復書簡

向田邦子と仙台

展示資料 向田邦子が愛用した万年筆 眼鏡、原稿 校正刷り など

“感激屋” 晩翠先生

展示資料 土井晩翠が教え子の卒業にあたって贈った色紙 など

若き日の北杜夫の足跡

展示資料 北杜夫が学生時代に下宿していた家の家族に送ったはがき など

お宝開陳!

展示資料 仙台の民謡詩人 研究家の渡辺波光の資料や 岩出山のコレクター 増井三夫が収集した資料群

あの文学者と仙台との意外なつながり

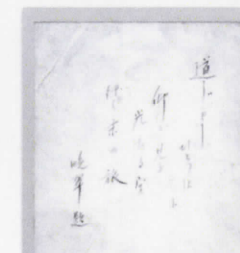
展示資料 有島武郎、柳原白蓮らの自筆資料 など



島崎藤村と交流のあった画家・布施淡が、婚約者・加藤豊世に送った手紙



作家・向田邦子が愛用していた筆記具・眼鏡



教師でもあった詩人 土井晩翠が卒業する教え子に贈った色紙「道しるしはここに 仰ぎ見る光ある空行く末の旅」

展示関連イベント ※会場はすべて仙台文学館講習室

①トークイベント「姉・向田邦子と仙台」

数々のテレビドラマの脚本や小説 エッセイで人気を博し その洗練されたライフスタイルが今なお注目を集める向田邦子。邦子の家族は一時期、仙台で暮らしたことがあります。その思い出を、妹の向田和子さんが語ります。

■出演/向田和子氏(エッセイスト) ■聞き手/当館学芸員
■日時/9月17日(月・祝)14:00～14:45 ■定員/100名(先着)

②講演会「明治の恋と青春 ～祖父母・布施淡と豊世の往復書簡について～」

今回の展示資料である布施淡・豊世の往復書簡について、自らライフワークとして調査し 著書『若き洋画家 布施淡 明治の恋と青春』を刊行した孫の布施協三郎氏が、書簡にまつわるエピソードを語ります。

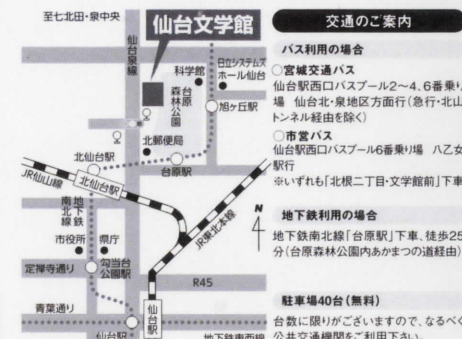
■講師/布施協三郎氏(布施淡・豊世令孫)
■日時/9月22日(土)13:00～15:00 ■定員/100名(先着)

【①②の申込方法】

電話 ファクスで受付(ファクスの場合はイベント名・氏名 電話番号を明記)。定員になり次第受付終了します。※入場には、会期中の企画展観覧券の半券が必要です(入場受付は各30分前開始)。※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

◇学芸員による展示解説

■日時/●12月16日(日)11:00～12:00 ●1月20日(日)11:00～12:00
●2月16日(土)11:00～12:00 ●3月10日(日)14:00～15:00
申し込み不要、直接会場へ ※当日の企画展観覧券が必要です。



(公財)仙台市民文化事業団
仙台文学館
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
http://www.sendai-lit.jp

このチラシは「雑み」としてリサイクルできます